



シエークスピアの「夏の夜の夢」を上演した野外演劇

浜松市中区

「夏の夜の夢」市民熱演

円形ステージ駆け巡る

浜松市中区の旧「松菱」跡地で21日夜、シエークスピアの「夏の夜の夢」を市民や学生が野外ステージで演じる「夏の夜の夢 in 浜松」(同実行委主催)が開かれた。

中区・松菱跡地で野外演劇

男女4人の恋愛模様を中心に、妖精や貴族を巻き込み展開する喜劇。市内などで劇団を主宰する近江木の美さんがコメディ要素を取り入れて演出した。

出演者の多くは演劇の舞台に臨むのは今回が初めてだった。客席に囲まれたメインとサイド2種類の円形ステージを駆け巡って笑いを織り交ぜながら約2時間の劇を演じきった。

実行委員長の鈴木結子さん(29)「警田市」が昨年10月に静岡文化芸術大大学院の修士研究として野外演劇を企画し、制作を進めてきた。鈴木さんは「野外演劇の新しい形を少しでも示すことができた」と話した。(浜松総局・吉田直人)